

千葉市地域自立支援協議会
令和3年度活動報告書

令和4年7月29日

< 目 次 >

I はじめに

- 1 千葉市地域自立支援協議会の概要 P. 2

II 全体会

- 1 開催概要 P. 3

III 運営事務局会議

- 1 開催概要 P. 4

IV 専門部会（医療的ケア児等支援部会）

- 1 開催概要 P. 6

V 地域部会

- 1 開催概要 P. 7
- (1) 地域部会の委員構成
 - (2) 相談支援事業所意見交換会の委員構成
 - (3) 中央区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告 P. 8
 - (4) 花見川区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告 . . . P. 10
 - (5) 稲毛区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告 P. 12
 - (6) 若葉区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告 P. 13
 - (7) 緑区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告 P. 14
 - (8) 美浜区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告 P. 15

1 はじめに

1 千葉市地域自立支援協議会の概要

1 目的

障害者の地域生活を支援するためのシステム作りや、障害福祉に関する関係機関のネットワークを構築するための定期的な協議の場として設置するもの。

2 設置根拠

- (1) 障害者総合支援法第89条の3
- (2) 千葉市地域自立支援協議会設置要綱
- (3) 千葉市地域自立支援協議会地域部会、運営事務局会議及び専門部会運営要領

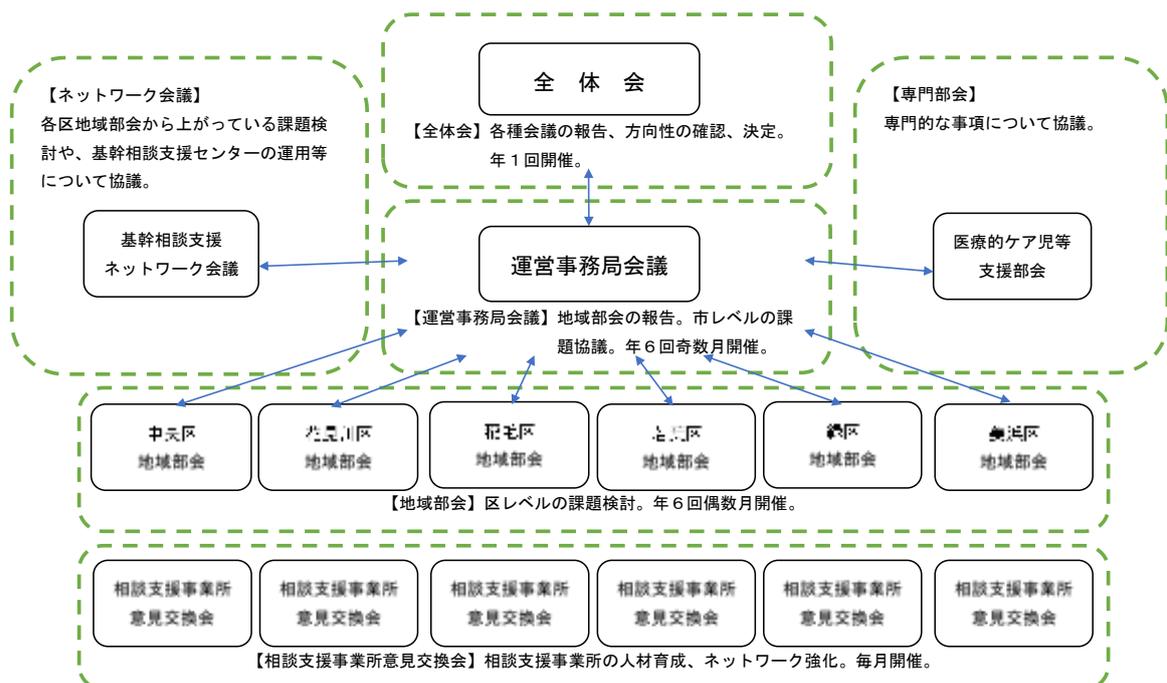
3 設置年月日

平成 19 年 12 月 1 日

4 協議事項

- (1) 障害者基幹相談支援センター事業の検証に関すること
- (2) 地域の関係機関との連携体制の構築に関すること
- (3) 困難事例への対応のあり方に関する協議、調整に関すること
- (4) 地域の社会資源の開発、改善に関すること
- (5) 地域の課題への対応に関すること
- (6) 前号に掲げるもののほか必要な事項

千葉市地域自立支援協議会の体制



II 全体会

1 開催概要

全体会は、例年、年1回を目安に開催しており、第17回目となる令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催としました。開催概要は次のとおりです。

(1) 資料配付・意見照会期間

令和3年8月2日(月)～20日(金)

(2) 集計日時

令和3年8月30日(月)

(3) 委員構成

障害者基幹相談支援センター、障害福祉サービス事業者、障害者団体関係者、保健医療機関関係者、教育関係者、雇用関係者、行政関係者 計29名

(4) 意見提出の状況

総委員数 29名

意見提出者数 16名

(5) 事務局

障害福祉サービス課

(6) 主な協議内容

I 報告事項

- ① 令和2年度相談支援体制の見直しについて
- ② 千葉県地域自立支援協議会令和2年度活動報告書について
- ③ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について
- ④ 千葉市の障害福祉関係統計資料

II 協議事項

- ① 令和2年度障害者基幹相談支援センターの運営状況について
令和2年度に開設した障害者基幹相談支援センターについては、肯定的な意見が多かった一方で、区毎の差が大きい点が指摘されました。
- ② 障害者基幹相談支援センター運営方針(案)について
1点修正を求める意見があり、運営方針に反映させました。
- ③ 令和2年度地域生活支援拠点事業の運営状況について
令和2年度に2か所増設した地域生活支援拠点事業については、役割が重複する

障害者基幹相談支援センターとの棲み分けや、空床確保事業の見直しを求める意見が上がりました。

④ 日中サービス支援型グループホームについて

短期入所の機能に期待する意見や、充実したサービス提供を求める意見が上がりました。

III 運営事務局会議

1 開催概要

運営事務局会議は、年6回を目安に、奇数月に開催しており、令和3年度の開催概要は下表のとおりです。なお、運営は、各区障害者基幹相談支援センターの持ち回りで実施しています。

(1) 委員構成

障害者基幹相談支援センター、地域生活支援拠点コーディネーター、千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議、障害福祉サービス事業者、地域福祉関係者、行政関係者 計22名

	開催日	運営（基幹相談支援センター）	主な報告事項・議題等
第1回	書面開催 R3.5.27	若葉区	◆ 各区地域部会の議事要旨について ◆ 各区地域部会からの意見
第2回	書面開催 R3.7.30	緑区	◆ 各区地域部会の議事要旨について
第3回	オンライン 開催 R3.9.30	美浜区	◆ 第17回全体会会議録について ◆ 知的障害のある方の特性に関する普及啓発について ◆ 各区基幹センターの計画相談支援の兼務に関する近況 ◆ 各区基幹センターより8050問題への取組について

	開催日	運営（基幹 相談支援セ ンター）	主な報告事項・議題等
第4回	対面開催 R3.11.25	中央区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ヤングケアラー問題 ◆ 8050問題 ◆ 支援困難者の居場所の課題(日中活動、生活の場、短期入所等)
第5回	書面開催 R4.1.20	花見川区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 基幹ネットワーク会議の報告 ◆ 拠点届出制度に関するアンケート結果報告 ◆ 相談支援専門員向けアンケート ◆ 中央区介護保険移行支援事業について ◆ 各区地域部会議事要旨に関する意見及び報告
第6回	書面開催 R4.3.15	稲毛区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 基幹ネットワーク会議の位置付けについて ◆ 緊急時等のシェルター機能施設について ◆ 公民館普及啓発活動について ◆ 医療的ケア児等支援部会について ◆ 各区地域部会議事要旨に関する意見及び報告

IV 専門部会（医療的ケア児等支援部会）

1 開催概要

医療的ケア児等支援部会は、不定期に開催しており、令和3年度の開催概要は下表のとおりです。

（1）委員構成

千葉県千葉リハビリテーションセンター、千葉県訪問看護ステーション協会、千葉市桜木園、相談支援事業所ぱれっと、若葉泉の里、行政関係者 計18名

	開催日	運営	主な報告事項・議題等
第1回	オンライン開催 R4.3.25	障害福祉サービス課	<ul style="list-style-type: none">◆ 令和4年度予算について◆ 災害時個別避難計画の策定について◆ 保育所及び小学校の受入れ状況と相談窓口について◆ 県医療的ケア児等支援センターの開設について

V 地域部会

1 開催概要

令和3年度の地域部会は、原則偶数月に開催しており、各区障害者基幹相談支援センターが各区毎に運営を行っています。

また、各区地域部会に附属する組織として相談支援事業所意見交換会があり原則として毎月開催しています。各区地域部会と相談支援事業所意見交換会の開催概要は次のとおりです。

(1) 地域部会の委員構成

障害者基幹相談支援センター、障害福祉サービス事業者、民生委員・児童委員、知的障害者相談員、社会福祉協議会、行政関係者 6区地域部会・計36名

(2) 相談支援事業所意見交換会の委員構成

各区障害者基幹相談支援センター、区内の特定相談・障害児相談支援事業所、その他関係機関（区毎に組織）

(3) 中央区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター管理者 伊藤 佳世子

中央区地域部会は各月で年6回行いました。内容的には千葉市全体の課題として挙がっているものの共有や意見交換と中央区の課題を話し合っていました。具体的には、運営事務局会議の報告や内容についての意見交換、また、地域部会の下部組織としての、課題別部会を組織しており、中央区8050部会(年12回)、中央区防災部会(年12回)、中央区医療的ケア部会(年12回)の内容についての報告や方向についての意見等をいただきました。

部会では、8050は多機関で一つの事例について話をする中で、他の機関からの視点の違いに気づきあえました。防災部会については実践を通してあんしん防災帳づくり、公民館に行ってみる等を通じて動きながら考えました。医療的ケア部会は当事者のお話や病院、事業所の話聞きながら、一緒に課題を整理できました。また、その他、課題別に検討する場をつくり話し合ってきました。以下のとおり開催しました。

1. 地域部会 偶数月第4月曜 10時～12時 きぼーる13階特別会議室

日程	令和3年4月27日、6月28日、8月23日、10月25日、12月27日、 令和4年2月28日
行ったこと	各作業部会の議事録を共有しながら意見交換を行った。 そして、地域の課題や対応の提案について運営事務局会議に諮った。

2. 医療的ケア部会 毎月第3水曜 16時30分～17時30分

日程	令和3年4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、 10月20日、11月17日、12月15日、令和4年1月13日、2月16日、3月16日
行ったこと	こども病院、千葉大病院、下志津病院、コアラの会、フラミンゴ隊、千葉市重症心身障害児・者を守る会、ALS協会千葉県支部の機関、団体の紹介や、医療的ケア児法案、事例検討等を行った。

3. 中央区8050部会 毎月第3水曜日 13時30分～14時30分

日程	令和3年4月21日、5月19日、6月16日、6月26日、7月8日、7月21日、8月18日、9月11日、9月15日、10月20日、11月17日、12月15日、令和4年1月13日、1月19日、2月16日、3月16日
行ったこと	当事者向け講演会(76人参加)、支援者向け講演会2回(24人+18人)、一般市民向け講演会(173人参加)とその準備のための会議を開催した。また、関係機関で事例検討会を5回開催した。(延48人参加)

4. 中央区防災部会 毎月第3水曜日 15時～16時

日程	令和3年4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、7月31日、8月18日、9月15日、10月18日、10月20日、11月17日、11月22日、12月15日、令和4年1月19日、2月16日、2月17日、3月16日
行ったこと	障害者の防災に関するアンケートのほか、安心防災帳を用いたワークショップ(2回延23人参加)、避難所運営ゲーム(HUG)ワークショップ(23人参加)、医療的ケアのある方の避難訓練(2回延17人参加)を実施。また、これらイベントの準備のための会議を開催した。

5. 行動障害を考える会

日程	6月3日、6月25日、8月4日、9月27日、11月10日、1月10日、3月11日
行ったこと	事例検討、課題整理

6. 医療的ケアのあるかたの緊急ショートを考える会 原則毎月第3木曜日 17時30分～

日程	7月29日、8月20日、9月16日、10月21日、11月18日、12月16日、1月20日、2月17日、3月17日
行ったこと	千葉リハビリテーションセンター、社会福祉法人 りべるたす、下志津病院、桜木園、千葉東病院、鎌取晴山苑、ぼこあぼこ びいーぼに関する事例検討や機関、事業紹介を行った。

7. こどもの未来をかんがえる会

日程	4月20日、5月26日、9月7日、11月18日、12月4日
行ったこと	重度な障害があっても就労ができるような機会づくりの検討のため、12月4日に重度障害者の就労支援の勉強会の企画をおこなった。厚生労働省、学校、当事者の方に登壇いただいた。250名ほどの参加となる。

8. 意見交換会 毎月第2木曜日 14時～16時

日程	令和3年4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月12日、9月9日、10月14日、11月10日、12月9日、令和4年1月13日、2月10日、3月10日
行ったこと	4回の事例検討会のほか、サービス等利用計画、モニタリング、アセスメント、報酬改定、介護保険制度、障害者就労支援の現状、成年後見制度についての研修会を開催した。

来年度も、地域で課題別の部会も行いながら進めていきます。地域がよりよくなるために、多くの方の意見や参加が必要だと思います。部会や意見交換会等に参加や課題を挙げることについての希望のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております。

(4) 花見川区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

花見川区障害者基幹相談支援センター管理者 近藤 秀登

市内 6 区に障害者基幹相談支援センターが設置され、自立支援協議会の運営に携わり 2 年目となった。全体会、運営事務局会議、地域部会、相談支援事業所意見交換会で構成される中で、令和 3 年度は新型コロナウイルス蔓延と防止対策として、書面ないし Web での開催に終始した一年であった。当初は Web 環境が整わず、止む無く書面開催であったが、議案提出・意見集約の全過程において、対面に比べ事務量が著しく増大した。地域の課題事例に関し、書面ならではの利点である、記録保存性を生かし、事案検討に丁寧に取り組む機会は得られたと考える反面、意見の交換や討議には十分とは言えなかった。Web 環境が整うに従い、ZOOM による会議に移行したが、これも当初はシステムトラブルや資料共有等の点で難儀はあったものの、徐々に解消されるに至った。やり取りは直接の対面でのやりとりに対するライブ感に欠ける面は否めないものの意見の交換は可能になった。

地域部会では千葉市の掲げる障害者施策の指針および障害者計画に則り、共生社会の構築に向け、地域の多職種の福祉関係機関（者）の参加を仰ぎ、情報共有と交流・連携協力を図った。構成は、あんしんケアセンター、民生児童委員、知的障害者相談員、手をつなぐ育成会、行政〔区高齢障害支援課・健康課・市障害者相談センター・県中央障害者相談センター〕、県立特別支援学校、社会福祉協議会、相談支援事業所、訪問看護/訪問介護事業所、生活自立・仕事相談センター、障害者基幹相談支援センターであった。参加者から部会で取り上げる地域課題や意見等を募り、80・50 問題、ヤングケアラー、学校卒業時に福祉や社会との繋がりが得られず家庭に引きこもってしまう人たち、精神障害者の地域移行と地域生活定着・維持に関する課題・支援を拒む方や障害・病識認知とも相まって支援の狭間にいる方等の事例を検討するなかで、ライフステージの各場面での福祉的課題としての共通性を見出し、施策に繋げるヒントにならないかと模索した。

第 1 回（令和 3 年 4 月）書面開催・参加（18）

『千葉市障害者相談センター 業務内容について』・事例ほか

第 2 回（令和 3 年 6 月）書面開催・参加（17）

『引きこもりケースへの対応について』・事例ほか

第 3 回（令和 3 年 8 月 10 日）ZOOM 開催・参加（17）

『引きこもりケースへの関係機関の関わり、支援方法について』・事例ほか

第 4 回（令和 3 年 10 月 15 日）ZOOM 開催・参加（17）

『地域の課題について』・事例ほか

第 5 回（令和 3 年 12 月 15 日）ZOOM 開催・参加（17）

『軽度知的独居地域生活者意思決定・地域生活支援について』・事例ほか

第 6 回（令和 4 年 2 月 15 日）ZOOM 開催・参加（13）

『次年度に向けて、自立支援協議会の在り方について』ほか

相談支援事業所意見交換会では、ケースを通しての事例検討と支援のありかた、相談事業所および相談員支援、地域の福祉ネットワーク構築と福祉力の向上・底上げを念頭に研修に取り組んだ。相談支援事業所の後方支援としては、個別の相談と共に、相談員の定着に関し業務の理解と深めからやりがいと充実感を感じてもらい、より良い相談支援に繋げることを目指した。地域の相談支援事業所の声を聴き、新人研修を始め諸々の研修の機会を各々の事業所が設定することは困難であるとのことから、他区基幹相談支援センターとも連携し、合同での研修を設ける計画に漕ぎ着けた。今後も各区障害者基幹相談支援センターのネットワークや行政および多職種連携の中で、課題と対応を総合的に進めたい。

第1回（令和3年4月）書面開催・参加（10）

『精神科退院後の地域移行先確保と医療との連携について』ほか

第2回（令和3年5月）書面開催・参加（7）

『当事者対応に関し相談員・基幹センター・行政の連携について』ほか

第3回（令和3年6月25日）ZOOM開催・参加（12）

『グループホームの退去を余儀なくされたケースについて』ほか

第4回（令和3年7月16日）ZOOM開催・参加（9）

『移動支援のできる支援範囲、市町村をまたいだ利用における注意点等』ほか

第5回（令和3年8月20日）ZOOM開催・参加（14）

『支援困難ケースへ相談員としてどう介入するか』ほか

第6回（令和3年9月17日）ZOOM開催・参加（12）

『障害者基幹相談支援センター開所から1年が経過して』ほか

第7回（令和3年10月22日）ZOOM開催・参加（14）

『60代で初めて療育手帳取得・成年後見制度利用に繋げるケース』ほか

第8回（令和3年11月12日）ZOOM開催・参加（23）

・研修『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業及び精神科受診への非自発的入院のプロセス』（千葉市保健福祉局高齢障害部精神保健福祉課）ほか

第9回（令和3年12月10日）ZOOM開催・参加（18）

・研修『区健康課の役割、相談員との連携』（花見川区保健福祉センター健康課こころと難病の相談班）ほか

第10回（令和4年1月14日）ZOOM開催・参加（15）

・研修『訪問看護の役割、相談員との連携』（訪問看護ステーション）ほか

第11回（令和4年2月18日）ZOOM開催・参加（26）

・研修『強度行動障害とは～相談支援専門員へ伝えておきたいこと～』（社会福祉法人）ほか

第12回（令和4年3月18日）ZOOM開催・参加（14）

『2021年度 意見交換会の振り返り、来年度に向けて』ほか

(5) 稲毛区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

稲毛区障害者基幹相談支援センター管理者 井出 孝子

令和3年度稲毛区地域部会は、偶数月の午後に計6回開催をいたしました。オブザーバーに、千葉市障害者相談センター、稲毛区健康課、千葉県中央障害者相談センター、稲毛区知的障害者相談員、児童家庭支援センター、特別支援教育コーディネーター、訪問看護事業所、あんしんケアセンターの方々にご参加いただきました。

コロナウィルスの感染防止対策の為、対面とZOOMのハイブリット形式での開催となりましたが、オンラインで参加をされた方にも広くご意見をいただけるように配慮や工夫をしながら進めました。地域部会では、事例検討に力を入れて取り組み、近隣に迷惑行為を繰り返してしまうケース、ご家族皆さんが精神疾患を抱えているケース等をあげ、日頃の支援の中で困っていることや課題を整理してきました。月をまたいでケースを取り上げて経過を追うことで、地域でのサポート体制を構築し、多機関からご意見を頂きながら日々の支援に活かして来ました。また、外部講師を招き「ひきこもり地域支援センターの役割について」を学ぶ機会も作りました。しかし、関係機関より事例や検討事項が上がるのが少なかった為、その点は次年度への課題として捉えていきたいと思っております。

稲毛区相談支援事業所意見交換会については、毎月開催をし、計12回実施をいたしました。地域部会同様にコロナの感染防止対策をとりながら、ハイブリット形式で開催をしております。内容については年度の始めに、各相談支援事業所よりテーマを募り、何を学びたいのか年間計画をたてて取り組みました。年間計画については以下の通りです。

- 4月：今年度の活動について、各事業所からの近況報告
- 5月：研修 「行動障害の方への支援について」
- 6月：事例検討 「65歳問題について」
- 7月：研修 「障害者手帳・色々な福祉サービスについて」
事例検討 「父子家庭における親亡き後を見据えて」
- 8月：研修 「千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」
- 9月：研修 「計画相談員の業務について～基幹センターとの役割～」
- 10月：研修 「障害者就労支援の現状と相談支援事業者との連携」
- 11月：研修 「成年後見制度の理解～相談支援専門員が押さえておくポイント」
- 12月：研修 「障害年金について」
- 1月：研修 「介護保険制度の基礎知識～事例を使ったグループワーク～」
- 2月：研修 「千葉障害者職業センター」オンライン見学会
- 3月：情報交換、次年度の活動について

研修を通して専門的知識を深める機会とし、日々の支援に活かしていただけるように進めてきました。また、顔の見える関係作りにも力を入れ、相談員が1人で抱え込まずによりよい相談支援が提供できるように今後も努めて参ります。

(6) 若葉区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

若葉区障害者基幹相談支援センター管理者 伊藤 正彦

令和3年度の若葉区地域部会は偶数月1回、第3・第4火曜日午前中に開催しました。コロナ禍のため、対面開催が難しい場合は書面開催で実施しました。若葉区地域部会は地域の相談員、分野を超えた関係機関で顔の見える関係を作り、連携しやすくすることを念頭に実施しています。さらに課題の発見、共有、対応について参加者全員で検討しています。

若葉区地域部会では最初に運営事務局会議等の報告、若葉区相談支援事業所意見交換会等の報告を行います。次に地域の課題の検討、事例報告、事例検討を行います。これらを踏まえ、運営事務局会議にどんなことを伝えていくか検討を行っています。

参加者は知的障害者相談員、ヘルパー事業所、民生委員、若葉区社会福祉協議会、市立養護学校、あんしんケアセンター、行政から高齢障害支援課、健康課など多様な方にご参加いただいております。課題としてはやはり8050の問題が挙げられることが多くありました。他にも地域で生活する精神障害者の方への対応、親御さんが高齢になっているケース、急きょ支援が必要な状態になった場合の対応など話題に挙がっています。中には介護保険、障害福祉サービスどちらにも該当しないケースへの対応をどうしたらいいかというものもありました。全体の共通点としては若いうちから支援につながることで、事前に今後の生活の変化に備えることが必要ではないか、と早期からの関わりの重要性が挙げられています。地域部会で話し合われた検討内容、課題は運営事務局会議に報告させて頂いています。

若葉区相談支援事業所意見交換会は月1回、第3・第4の木曜日・金曜日に開催しました。コロナ禍のため、状況に応じて対面とWeb会議(Zoom)による意見交換会を開催しました。年間日程を組み、先に周知することで参加して頂きやすいようにしました。意見交換会は冒頭に自立支援協議会からの報告、若葉区障害者基幹相談支援センターからの報告、続いて新規事業所の情報共有、検討内容へと進んでいきます。

令和3年度は拠点事業や関係機関との連携についてお伝えし、必要に応じて講師等を招いて研修会を開催しています。12月の意見交換会ではカスタマーハラスメント研修会を開催し、カスタマーハラスメントに遭遇した際にどのような対応をしたらいいかを学ぶことが出来ました。障害分野以外の方々にも参加して頂くことが出来たため、皆様にとって興味のあるテーマだったと感じています。また、意見交換会の中で社会資源の不足部分、親亡きあとの支援など、相談員が抱える課題を話し合い、再確認することが出来ました。

意見交換会の中でサービス等利用計画案、モニタリング報告書の報告をして頂き、支援方針、計画案や報告書の書き方の工夫、改善点について相談員同士で共有を行っています。ひとり職場の方もいるため、相談員同士がつながりを感じ、相談しやすい関係、お互いに支え合える関係を目指しました。来年度は相談支援専門員が困っているケースの事例検討、多職種連携のためのネットワーク作りを中心に実施していきたいと考えています。

(7) 緑区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

緑区障害者基幹相談支援センター 菅野 直子

2021度の緑区地区部会は、会場の都合上固定した曜日にはなりませんでしたが、偶数月に開催しました。コロナ禍のなかでしたが、各月ともに対面での開催で実施しました。

今年度もケース検討の中から地区の課題を探りながら実施をしました。相談件数・内容ともに児童の相談が多いのも変わらず緑区の相談の傾向ではありました。その中から緑区では地域の中で中学・高校年限になると放課後等児童デイサービス事業所が少ないという課題が見えましたが、ここはなかなか具体的な対応策はとれない部分でもあります。

さらに小・中学校にはなかなか福祉の情報が伝わって行かない課題も見えてきました。特別支援学校（第二養護学校・市立養護学校）では、日常的に障害福祉サービスを利用してきている方が多いこともあり、福祉の情報は比較的伝わっているとは思いましたが、特別支援学級や通常級に在籍している児童・家庭には届いていないことと、先生達には思いの外福祉の情報が届いていないことも分かりました。情報の発信の工夫が必要な部分であることも見えてきました。

各区との連携の中で、80：50の課題についても意識をしてきましたが、安心ケアセンターとの連携も少しずつ見られてはきています。まだまだ大きくは顕在化は見られてはいない状況でもあります。

相談支援の意見交換会も毎月開催してきましたが、こちらはzoomでの開催が多くなりました。毎月すべての事業所が出席する状況ではありませんでしたが、毎月持ち回りでケース検討を地道に進めてきました。その中で毎回新しい事業所等の情報の提供はその都度進めてきました。医療的ケア児のケース検討もあり、医療での対応か、福祉的な対応なのかと難しい部分も見えていました。相談機関としては緑区は県リハビリテーションセンターの相談支援もあり、専門性も高いので恵まれているように感じています。この良さを生かしてお互いの事業所が相談できる関係を大事にして行きたいと考えています。

地域生活拠点支援事業との連携は、同一法人の強みもあり、登録ケースに関してはお互いに連携をとって進めることが出来たことは大きなメリットだったと感じる。緊急対応はどうしても知的障害の方が多くはなったが、日頃の連携が必要なことも痛感された。

何よりも、地域の中で何気ない相談が出来ることの大事さを感じてはいる。ここの部分は今後とも日々大事に進めて行きたいと考えています。

(8) 美浜区地域部会・相談支援事業所意見交換会の開催報告

美浜区障害者基幹相談支援センター管理者 石野 誠

地域部会では、「親なきあとの支援について」と「幼少期からの継続的な支援について」の2つのテーマを重点項目として、協議を行った。

「親なきあとの支援について」では、あんしんケアセンターの方にオブザーバーとして参加頂き、高齢者の親や近隣に住む兄妹などに関連し、障害のある方への支援に早い段階からつながるために、どのような取り組みが必要かを議論した。

地域とのつながりが希薄かつ、社会資源に関する情報をあまり持っていない知的障害者やその家族に対し、療育手帳の更新などの場面で関わった行政職員と基幹相談支援センターの連携の取り組みや、区内各所で実施される地域ケア会議への参加等により、民生委員など地域の方への基幹相談支援センターの周知の取り組みなどを委員等と共有した。

「幼少期からの継続的な支援について」では、就学前後や学校卒業後など各ステージの切れ目にスムーズな相談支援が展開できるよう、また、福祉サービスを利用しなくなった後、再度サービスが必要となった時などに継続的な支援が可能となるような体制整備について協議を行った。また、相談支援事業所意見交換会を活用し、障害児通所支援の事業所と地域課題の抽出を試みる活動を行った。

相談支援事業所意見交換会では、事例検討を通じたグループスーパービジョンや就労系事業所に関する情報提供、感染症対策と相談支援の対応など、地域の相談支援専門員等の悩みなどに向き合い、必要な関係づくりに努めた。

地域部会と連動した障害児通所支援事業所との意見交換・グループワークでは、利用者や家族が事業所を選びやすいよう事業所の特徴をまとめたリストの作成などの意見があった。

引き続き、様々な障害福祉サービス事業所をはじめとした、各種社会資源との連携を強化し、地域生活支援拠点の面的整備に寄与できるような運営に努めたい。

地域部会

月	内容
4月	委員紹介及び本年度の取り組みの方向性の確認
6月	「親なきあとの支援について」「幼少期からの継続的な支援について」
8月	同上
10月	同上
12月	同上
2月	近況報告及び事例検討

意見交換会

月	内容
4月	国通知の相談支援関連事項の確認
5月	事例検討
6月	事例検討
7月	就労移行支援事業所の紹介及び事例検討
8月	新型コロナウイルスを取り巻く相談対応について
9月	研修会「薬について・精神科訪問看護について」
10月	他区研修会に参加
11月	障害児通所支援事業所と相談支援事業所等を交えた意見交換・グループワーク
12月	同上
1月	就労継続支援B型事業所紹介、地域課題の抽出、次年度方針の説明
2月	事例検討
3月	事例検討、グループホームの探し方

「千葉市地域自立支援協議会令和3年度活動報告書」

(令和4年7月29日作成)

<担当>

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害福祉サービス課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

電話：043-245-5228 FAX：043-245-5630

E-mail：shogai Fukushi.HWS@city.chiba.lg.jp